

インシュアテックイノベーション

連載第4弾

ポスト資本主義・AI時代 に残る仕事⑧



Nutrition創業者の坂本氏

アイリックコーポレーション（IRRC）フェロー

保険・ヘルスケアDX担当 畔柳主税

AIと予防医学が変える健康と保険の未来

AIや予防医学の進展により、保険は健康維持の「支援者」へと進化している。個別最適化と共創型の時代に、保険業界は未来の創造にどう挑むのか。

健康の主導権が「医療」から「生活」へと移る時代

近年、米国では「メイ・ク・アメリカ・ヘルシー・アゲイン」を掲げた政策が進行し、トランプ大統領が薬価の引下げの大統領令を出した。ロバート・ケネディJr.氏が砂糖や着色料の規制を強

重要なテーマとなっている。

精密栄養学×AIで広がるパーソナルヘルスの可能性

その中核を担う分野が「精密栄養学」だ。これは遺伝子情報、腸内環境、血液データ、生活スタイルなど複合的なデー

個別最適化と共創による新たな保険のかたち

この流れの中で、注目されているのが予防医学とHealthtech、そしてAIの融合である。特に「健康を維持することへの意識が高まり、病気になる前の介入や生活習慣の見直しが

タを解析し、一人ひとりに最適な栄養・生活習慣を提案する次世代型の栄養学である。平均値による一般的な指導ではなく、体質や疾病リスクに応じたカスタマイズが可

めて「動的な気づき」へと導くアプローチは、個人の行動を変え、病気の芽を摘む力を持っている。さらに筆者は、ChatGPTとともに家族の

ている。注目すべき事例が、Nutritionの取り組みだ。同社は、健康診断データや血液検査結果をもとに、必要な栄養素を解析し、最適なサプリメントをAI

が提案するプラットフォームを立ち上げ中だ。このサービスは、従来の「なんとなく選ぶサプリ」から「医療的根拠に基づいた選択」へと進化させるものであり、情報の正確な伝達と品質の可視化が重視されている。創業者の坂本慧太氏は、金融・M&A業界出身という異色の経歴を持ち、「信頼に基づく関係性の構築」を軸に、ヘルスケア業界に新風を吹き込んでいる。

こうした事例が示すのは、生活者自身が「気づき、選び、行動する」時代の到来であり、保険業界もこの流れに目を向ける必要がある。

静岡県富士市生まれ・東工大卒。石油会社のIT部門から2008年より保険業界向けのITソリューション・DXの企画・営業に携わる。持ち味は企業コラボ。

精密化するヘルスケアが生む新ビジネス

このような事例が示すのは、生活者自身が「気づき、選び、行動する」時代の到来であり、保険業界もこの流れに目を向ける必要がある。

今後は、健康AIエージェントが登場し、予防・生活習慣・サブリック・検査・治療までを一気通貫でサポートする未来が予想される。AIエージェントが個人の健康情報をもとに、保険商品をレコメンドし、生活改善と保障がセットで提供されるような世界だ。

【畔柳主税（あぜやなぎ・ちから）氏のプロフィール】

健康診断書を分析。妻の空腹血糖値・中性脂肪が低いのに、HbA1cがわずかに高い。ここから、血糖値スパイクの兆候を発見したことで、食後高血糖への対策と医療機関でのフォローアップを促すことができた。このように、AIとの協働は家庭単位の健康管理にも有効だと実感している。

健康診断書を分析。妻の空腹血糖値・中性脂肪が低いのに、HbA1cがわずかに高い。ここから、血糖値スパイクの兆候を発見したことで、食後高血糖への対策と医療機関でのフォローアップを促すことができた。このように、AIとの協働は家庭単位の健康管理にも有効だと実感している。

すでに一部の健康増進型保険では、スマートウォッチなどのデバイスを使った歩数・心拍数の記録や、血糖モニタリング、ヘルスコーチとの連携が進んでいる。しかしその多くは、既存契約者とのエンゲージメント強化にとどまっている。

変化の激しい時代にこそ、保険業界が未来に挑戦する姿勢を期待したい。